

隠岐諸島でホンゴウソウを記録する

立花 寛 奈*・白石 泰 志**・井 上 雅 仁***

An Observation of *Sciaphila nana* Blume on the Oki Islands

Kanna Tachibana*, Taishi Shiraishi**, Masahito Inoue***

1. はじめに

ホンゴウソウ *Sciaphila nana* Blume はタコノキ目ホンゴウソウ科ホンゴウソウ属に分類される、紫褐色の3-13 cmの地上茎をもつ、緑葉のない多年生の菌従属栄養植物である(大橋・邑田, 2015)。分布はフィリピン、ベトナム、タイ、マレーシア、スマトラ、ジャワに及び(Ohashi et al., 2008)、日本では本州(宮城県・福島県・新潟県以西)、四国、九州、屋久島、種子島、琉球にやや稀に生育する(日本植物分類学会, 2025; 大橋・邑田, 2015)。島根県では出雲地方の一部山地樹林内の限られた範囲でのみ生育が確認されている(島根県環境生活部自然環境課, 2013; 澤田, 2024)。

今回筆者らは、島根県の離島である隠岐郡隠岐の島町(島後地域)の3ヶ所においてホンゴウソウの生育を確認したため、ここに報告する。

2. 生育状況および生育環境

島根県隠岐郡隠岐の島町の五箇地区1ヶ所と西郷地区2ヶ所の計3ヶ所において、生育が確認された。

(1) 五箇地区

2025年8月23日、標高約323mの尾根上の1地点において5株を確認した。開花株(図1-d,e)と結実株(図1-g)が混在していた。生育地周辺の植生は、高木~亜高木層にスダジイ、ヤブツバキ、ヒサカキが優占し、低木~草本層にはヒサカキ、ツルシキミなどが混じる広葉樹林であった。地表の被度は10%未満で、

林床はスダジイ等の落葉で覆われていた。ホンゴウソウは林床の日が差し込む場所から地上茎を伸ばしていた(図1-a)。

(2) 西郷地区①

2025年9月9日、標高約26mの緩やかな山地斜面の1地点において3株を確認した。開花株と結実株が混在していた。生育地周辺の植生は、高木~亜高木層にスダジイ、コナラ、スギが、低木~草本層にヒサカキ、ヤブツバキ、ツルシキミなどが混じる広葉樹の二次林であった。地表の被度は10%未満であり、ホンゴウソウはスダジイやコナラの落葉の隙間から地上茎を伸ばしていた(図1-b)。北東向きの斜面で、林冠を常緑樹が占めるため林床は日照が乏しかった。

(3) 西郷地区②

2025年7月23日、標高約45mの丘陵地の1地点で4株を確認した。さらに2025年9月9日には同地点において10株を確認した。いずれも開花株と結実株が混在していた。生育地は林道沿いの法面であり、周辺は林道を挟んで西側がスギ人工林、東側が高木~亜高木層にスダジイやウリハダカエデが優占し、低木~草本層にヒサカキやウラジロなどを主体とする広葉樹林であった。林道沿いのため比較的日当たりが良く、ホンゴウソウが生育する林床はコケに覆われ、土壌は粘土質で湿度が高かった(図1-c)。

3. 同定根拠

ホンゴウソウ科ホンゴウソウ属の植物は、国内で

* 一般社団法人隠岐ジオパーク推進機構、〒685-0013 島根県隠岐郡隠岐の島町中町目貫の四 61

Oki Islands Geopark Management Bureau, 61 Menukinoyon, Nakamachi, Okinoshima-cho, Oki-gun, Shimane 685-0013, Japan

** 山のキノコ研究会、〒689-5131 鳥取県日野郡日野町黒坂 1561-1 日野町リノベーション Lab 理科室

Mountain Mushroom Research Group, 1561-1 Kurosaka, Hino-cho, Hino-gun, Tottori 689-5131, Japan

*** 島根県立三瓶自然館、〒694-0003 島根県大田市三瓶町多根 1121-8

The Shimane Nature Museum of Mt. Sanbe (Sahimel), 1121-8 Tane, Sanbe-cho, Ohda, Shimane 694-0003, Japan

10種1変種が報告されている(末次ほか, 2020)。今回隠岐の島町で確認した個体は、単性花のみをもち(図1-d,e,f)、雌花の花柱は針状で先端が無毛であり(図1-d)、雄花の花被片6枚のうち3枚が広く、3枚が狭くその先端に球状突起をもつ(図1-e,f)という特徴を示した。これらの形質は Suetsugu & Kinoshita(2020)が示したホンゴウソウの特徴に一致するため、本種と同定した。

証拠標本

本報告の標本は隠岐の島町隠岐自然館に収蔵した。

標本情報

JAPAN, Shimane Pref., Okinoshima Town (Goka), Kanna Tachibana, 1 September 2025 (Oki Islands Geopark Museum) .

JAPAN, Shimane Pref., Okinoshima Town (Saigo), Kanna Tachibana, 9 September 2025 (Oki Islands Geopark Museum) .

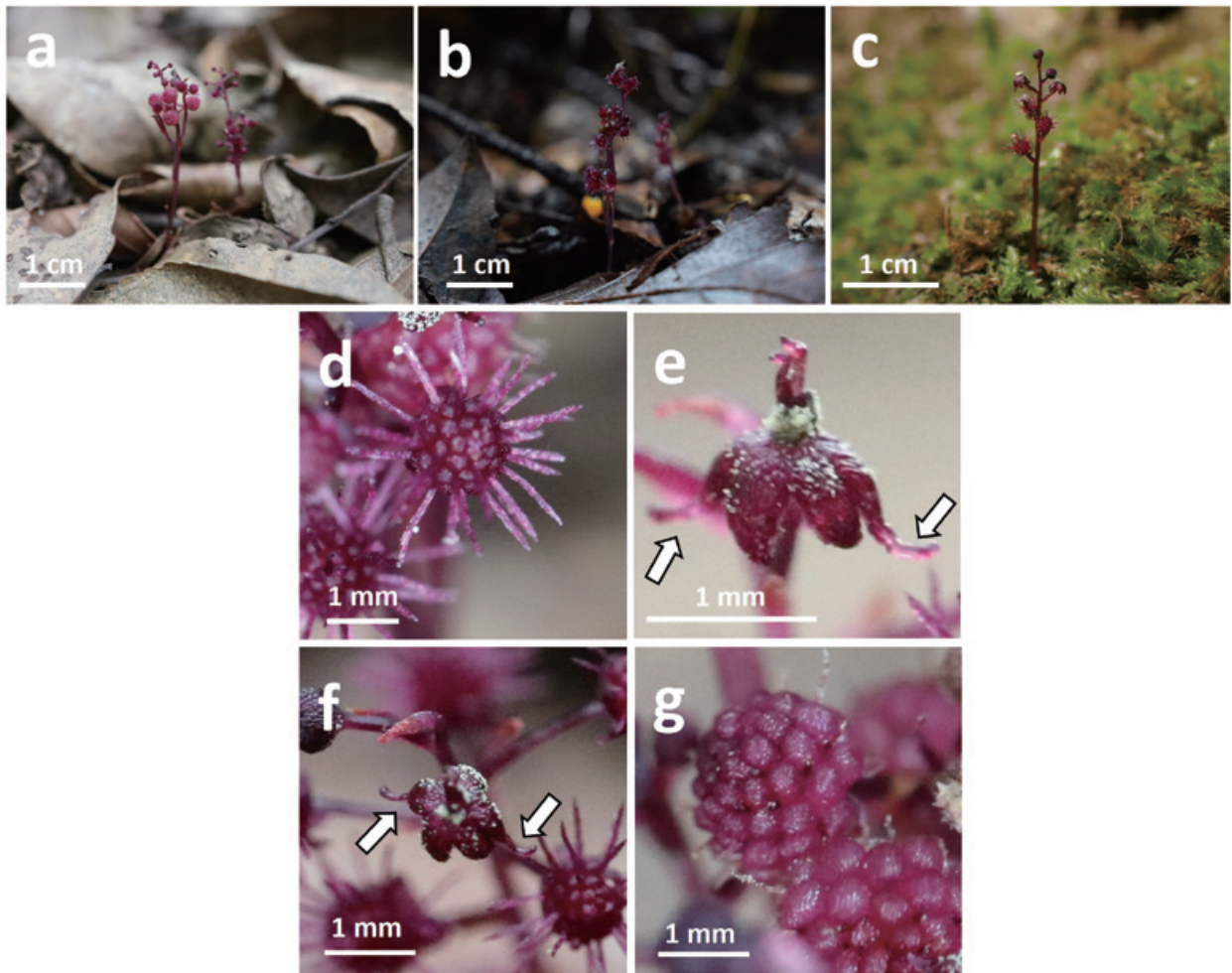


図1 島根県隠岐郡隠岐の島町で確認されたホンゴウソウ *Sciaphila nana* Blume .
a. 隠岐の島町五箇地区の生育環境と地上茎. b. 隠岐の島町西郷地区①の生育環境と地上茎. c. 隠岐の島町西郷地区②の生育環境と地上茎. d. 雌花. e, f. 雄花(矢印: 花被片先端の付属体). g. 結実した雌花

4. 保全状況と今後の課題について

ホンゴウソウは国内で比較的広く分布するが、生育地は局所的であり、分布域の一部において、踏みつけによる生育条件の悪化が指摘されている。そのため環境省第5次レッドデータブックでは準絶滅危惧 (NT) に指定されている (日本植物分類学会, 2025)。さら

に島根県内では生育地が極めて限られ、個体数も少ないことから絶滅危惧 I 類 (CR+EN) に指定されており (島根県環境生活部自然環境課, 2013)、保全上重要な植物である。

今回確認された個体群については、今後定期的に個体数を記録することが重要である。また、ホンゴウソウは植物体が非常に小さいため、これまで確認されて

いなかった可能性が高い。今後も隠岐諸島内での調査を継続する必要がある。

謝 辞

隠岐の島町の長岡桂太郎氏、松山怜氏、環境省隠岐管理官事務所の砂崎陸斗氏には現地調査、写真提供にご協力いただいた。島根大学生物資源科学部准教授の久保満佐子博士には本稿の執筆にあたり、ご指導を賜った。ここに感謝申し上げる。

引 用

日本植物分類学会 (2025) ホンゴウソウ. 環境省 (編) 第5次レッドデータブック: 絶滅のおそれのある日本の野生生物.
Ohashi, H., Kato, H., Kobayashi, S. & Murata, J (2008)

Arevision of *Triuridaceae* of Japan. J. Jap. Bot., 83 : 20–35.
大橋広好・邑田 仁 (2015) ホンゴウソウ科 TRIURIDACEAE. 大橋広好・門田裕一・木原浩・邑田 仁・米倉浩司 (編), 改訂新版 日本の野生植物 1 ソテツ科～カヤツリグサ科, pp.151–152, 平凡社, 東京.
澤田達也 (2024) 島根県安来市にてホンゴウソウ及びヒナノシャクジョウを確認. 島根植物研究会会報 46:3.
島根県環境生活部自然環境課 (2013) 改訂しまねレッドデータブック 2013植物編～島根県の絶滅のおそれのある野生生物～. 島根県環境生活部自然環境課, 254pp. 島根.
Suetsugu, K. & Kinoshita, A (2020) *Sciaphila kozushimensis* (Triuridaceae), a new mycoheterotrophic plant from Kozu Island, Izu Islands, Japan, based on morphological and molecular data. Phytotaxa, 436 (2) :157–166.
末次健司・藤本勝典・原千代子・森田秀一・山室一樹 (2020) タナカソウ (ホンゴウソウ科) を奄美大島に記録する. 植物地理・分類研究 68 (2) : 139–142.

